

4月新着おすすめ本

MOE 絵本屋さん大賞 2017 受賞作

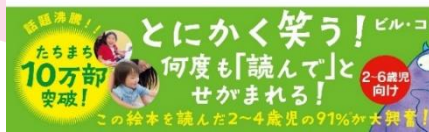


『ぜったいに おしちゃダメ?』

ビル・コッター 著 (サンクチュアリ出版)



ぜったいに おしちゃダメ?



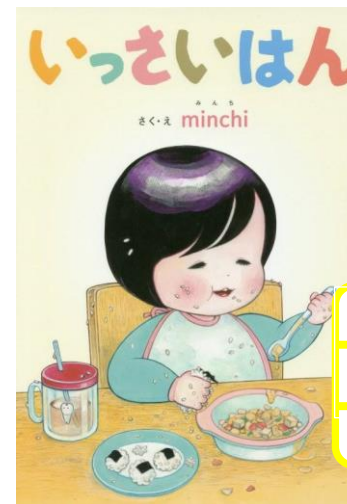
E
COT

このえほんには1つだけルールがあるよ。それはこのボタンをおしちゃダメということ。このボタンのことをかんがえてもダメ。できるかな?2~4歳児向け。
(「BOOK」データベースより)



『いっさいはん』

minchi 著 (岩崎書店)



E
MIN

「あるあるすぎてニヤニヤしちゃう!」
「1歳半ぐらいの子どもの行動」が絵本になりました。

(「BOOK」データベースより)

『ノラネコぐんだんそらをとぶ』

工藤ノリコ 著 (白泉社)



E
KUD

今回は飛行場にあらわれたノラネコぐんだん。カッコいいね、のりたね、と飛行機にしのび込んでレバーをガッチャン! 無事飛びたったものの、燃料が入ってなくて...!? 大人気絵本シリーズ 第4弾!

(「amazon.co.jp」より)



『つままないつままない』

ヨシタケシンスケ 著 (白泉社)



E
YOS

せかいいちつままない ゆうえんちってどんなところ?いちばんつままないのって、なんさいだろう?ダンゴムシって、「つままないな」っておもうんだろうか?おとなはつままないときどうしてるんだろう?... つままないことをいっばいかんがえるのってたのしい! MOE 本屋さん大賞3冠作家注目の新作絵本!

(「BOOK」データベースより)

『ダ・ヴィンチ』「BOOK OF THE YEAR2017」小説ランキング受賞作



『アキラとあきら』

池井戸潤 著 (徳間文庫)

5位



913.6

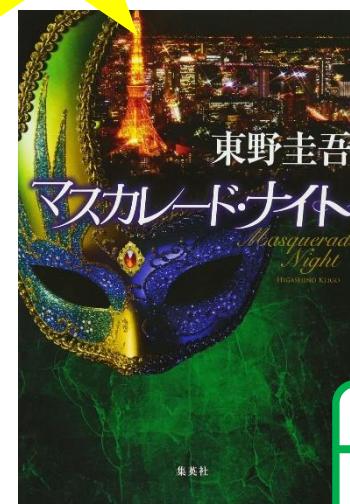
YO

零細工場の息子・山崎瑛と大手海運会社東海郵船の御曹司・階堂彬。生まれも育ちも違うふたりは、互いに宿命を背負い、自らの運命に抗って生きてきた。やがてふたりが出会い、それぞれの人生が交差したとき、かつてない過酷な試練が降りかかる。逆境に立ち向かうふたりのアキラの、人生を賭した戦いが始まった。感動の青春巨篇。
(「BOOK」データベースより)

『マスカレード・ナイト』

東野圭吾 著 (集英社)

8位



913.6

HI

若い女性が殺害された不可解な事件。警視庁に届いた一通の密告状。犯人は、コルテシア東京のカウントダウンパーティに姿を現す!?あのホテルウーマンと刑事のコンビ、再び。
(「BOOK」データベースより)

『いまさら翼といわれても』

米澤穂信 著 (KADOKAWA)



913.6

IK

9位

神山市が主催する合唱祭の本番前、ソロパートを任されている千反田えるが行方不明になってしまった。夏休み前のえるの様子、伊原摩耶花と福部里志の調査と証言、課題曲、ある人物がついた嘘—折木奉太郎が導き出し、ひとりで向かったえるの居場所は。そして、彼女の真意とは?(表題作)。奉太郎、える、里志、摩耶花—“古典部”4人の過去と未来が明らかになる、瑞々しくもビターな全6篇!
(「BOOK」データベースより)

『よるのばけもの』

住野よる 著 (双葉社)



913.6

SU

夜になると、僕は化け物になる。化け物になった僕は、夜の学校で、ひとりぼっちの少女と出会う—
(「BOOK」データベースより)

39位